



平成 20 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東証第一部
 コード番号 6731 URL <http://www.pixela.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 御前 仁志 TEL (06) 6633-3500

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 9 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	1,696	25.9	△ 561	—	△ 617	—	△ 601	—
19年9月期第1四半期	1,347	△27.6	△ 332	—	△ 387	—	△ 403	—
19年9月期	6,656	—	△1,324	—	△1,473	—	△2,029	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年9月期第1四半期	△55 07	— —
19年9月期第1四半期	△37 01	— —
19年9月期	△185 94	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月期第1四半期	5,647	3,048	53.0	274 26
19年9月期第1四半期	7,466	5,340	70.6	483 12
19年9月期	6,165	3,674	58.4	329 89

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第1四半期	△479	△116	△1	1,482
19年9月期第1四半期	△477	463	△99	1,763
19年9月期	△24	235	10	2,094

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年9月期第1四半期	— —
20年9月期第1四半期	— —

3. 平成 20 年 9 月期の連結業績予想（平成 19 年 10 月 1 日 ～ 平成 20 年 9 月 30 日）
平成 19 年 11 月 16 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

（注）詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成19年10月1日から平成19年12月31日）におけるわが国経済は、輸出が好調に推移したほか、大企業を中心に設備投資も緩やかに増加し底堅さはあるものの、米国サブプライムローン問題に端を発する金融資本市場の混迷や原油価格および材料価格の高騰、住宅着工戸数の減少等の影響を受け、景気に減速の兆しが見られ先行きの不透明感が増しております。

このような環境のもと、前期より本格参入いたしましたデジタルAV家電分野では、組込み地上デジタル放送受信ボードの受注が好調に推移したほか、デジタルAV家電の新ブランドを立ち上げ、大手家電量販店での販売を開始し、これまでの主力であるパソコン周辺機器を上回る売上となりました。

一方、パソコン周辺機器におきましては、パソコン向けテレビキャプチャーボードの出荷台数は前年同期なみに推移したものの、単価の下落が響き、厳しい状況が続いております。また、ソフトウェアロイヤルティにおきましても、新規案件はあったものの、パソコン向けテレビキャプチャーボードの単価の下落やライセンス料支払い負担の増加等により低調に推移いたしました。

以上の結果、連結売上高は16億96百万円（前年同期比25.9%増）となりました。損益面につきましては、単価の下落や売上構成比率の変化などのほか、新規参入したデジタルAV家電分野への初期投資が重く、営業利益は5億61百万円の損失（前年同期は3億32百万円の損失）となりました。経常利益は持分法適用関連会社へ投資損失を計上したこと等により、6億17百万円の損失（同3億87百万円の損失）、四半期純利益は6億1百万円の損失（同4億3百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 総資産等の状況

当第1四半期末（平成19年12月31日現在）の総資産は、前期末に比べ5億18百万円減少し、56億47百万円となりました。純資産は、前期末より6億26百万円減少し30億48百万円となり、その結果自己資本比率は、53.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は、4億79百万円となりました。これは主に、売上債権の減少が1億33百万円、仕入債務の増加が2億63百万円あったものの、税金等調整前第1四半期純損失が6億17百万円、たな卸資産の増加が1億31百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により増加した資金は、1億16百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が1億1百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における業績予想につきましては、平成19年11月16日に公表いたしました予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税効果会計及び法人税等の計上基準等において簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年9月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年9月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	1,763	1,482	△281	△15.9	2,094
受取手形及び売掛金	3,147	2,296	△851	△27.0	2,430
たな卸資産	1,082	602	△480	△44.4	473
その他	220	241	20	9.4	82
流動資産合計	6,214	4,621	△1,592	△25.6	5,080
II 固定資産					
有形固定資産	189	273	83	43.9	277
無形固定資産	114	192	78	68.5	205
投資その他の資産	947	559	△387	△40.9	601
固定資産合計	1,251	1,025	△226	△18.0	1,084
資産合計	7,466	5,647	△1,819	△24.3	6,165
(負債の部)					
I 流動負債					
買掛金	1,498	1,737	238	15.9	1,456
その他	413	609	195	47.3	787
流動負債合計	1,912	2,347	434	22.7	2,244
II 固定負債					
役員退職慰労引当金	213	232	19	8.9	233
その他	—	19	19	—	13
固定負債合計	213	252	38	17.9	246
負債合計	2,125	2,599	473	22.2	2,490
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	2,562	2,562	—	—	2,562
資本剰余金	3,218	3,218	—	—	3,218
利益剰余金	△334	△2,606	△2,272	—	△2,005
自己株式	△124	△124	—	—	△124
株主資本合計	5,321	3,049	△2,272	△42.6	3,650
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	△54	△59	△5	—	△60
為替換算調整勘定	6	4	△2	△36.7	10
評価・換算差額等合計	△48	△55	△7	—	△49
IV 少数株主持分	66	54	△12	△18.6	73
純資産合計	5,340	3,048	△2,292	△42.9	3,674
負債、純資産合計	7,466	5,647	△1,819	△24.3	6,165

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年9月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年9月期〕 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	1,347	1,696	349	25.9	6,656
II 売上原価	1,085	1,636	551	50.7	5,445
売上総利益	262	60	△202	△76.8	1,210
III 販売費及び一般管理費	595	622	27	4.6	2,534
営業損失	332	561	229	—	1,324
IV 営業外収益	5	3	△2	△55.8	117
V 営業外費用	61	58	△2	△3.6	266
経常損失	387	617	229	—	1,473
VI 特別利益	—	—	—	—	1
VII 特別損失	—	—	—	—	394
税金等調整前四半期 (当期) 純損失	386	617	231	—	1,867
税金費用	29	2	△27	△92.5	239
少数株主損失	12	18	△6	53.6	76
四半期(当期) 純損失	403	601	197	—	2,029

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	〔前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期〕	〔当四半期 平成20年3月期 第1四半期〕	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	△386	△617	△1,867
減価償却費	25	32	137
持分法による投資損失	52	40	203
売上債権の減少額	315	133	1,131
たな卸資産の減少額 (増加は△)	△33	△131	183
仕入債務の増加額 (減少は△)	△340	263	△391
その他	△110	△200	578
営業活動によるキャッシュ・フロー	△477	△479	△24
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△43	△11	△118
有価証券の取得による支出	—	△101	△302
有価証券の売却による収入	—	—	804
その他	506	△3	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー	463	△116	235
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	—	—	203
配当金の支払による支出	△102	0	△117
その他	3	△1	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99	△1	10
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△14	△5
V 現金及び現金同等物の減少額	△113	△612	△216
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,877	2,094	1,877
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,763	1,482	2,094